



発行● みどり三多摩
〒184-0004小金井市本町2-19-36
Tel/Fax 042-387-3787
E-mail ZWS00446@nifty.ne.jp
<http://midori-3tama.net>



報告会

緑の党 の世界大会

(グローバル・グリーンズ in サンパウロ)

& 軍隊のない国 コスタリカ

5/1~4、ブラジル・サンパウロで開催された第2回グローバル・グリーンズ大会には、88の国や地域から1000人近くが集まりました。日本からは、みどり三多摩のメンバーも含む20人以上が参加。グローバル・グリーンズは2001年オーストラリア・キャンベラで発足した緑の党的国際的ネットワークです。

地球の裏側、伐採と汚染の危機にあるアマゾンを抱えるバイオ燃料の国、日系移民100周年を迎えるブラジルで、「気候危機」「森林と生物多様性」「持続可能な都市」をテーマに議論と交流が繰り広げられました。

中南米コスタリカも訪問。軍隊のない国の民主主義のあり方に目からウロコ！のレポートをお楽しみに。



サンパウロにて グローバル・ヤング・グリーンズのメンバー

みどり三多摩 オープンフォーラム



かわいい！コスタリカの国会議事堂

6/22(日)

開場12:45 13:00~15:30

会場：ブルーム&ブルーム
スローフードカフェ
042-384-0883 武蔵小金井駅南口5分

参加費：1500円(ワンドリンク・お菓子付)



★ レポーター ★

酒村菜緒(川田龍平事務所スタッフ)

友澤孝規(大学院生)

重松朋宏(国立市議)

漢人あきこ(小金井市議)

みどり三多摩オープンフォーラム

地域から地球環境"を守る処方せん
～エコな町のしくみをつくる～

三多摩30自治体の 環境度アップを!

7月のG8洞爺湖サミットも近くなり環境問題がクローズアップされています。みどり三多摩では、三多摩全体での環境施策の底上げのために環境度調査を行い、4/20のオープンフォーラムで結果を発表しました。講師の増原直樹さん（環境自治体会議）に全国的な取り組み事例やアドバイスをいただき、後日、新聞各紙にも大きく取り上げられました。

みどり三多摩協賛シンポジウムです↓

オリンピックと新銀行東京との
あぶない関係利権はリレーする
名古屋、長野、そして東京へ

6/21(土)

13:30開場 14:00～

渋谷勤労福祉会館

資料代:500円

連絡先: 東京にオリンピックはいらないネット Tel/Fax:03-3330-3016

13版

2008年(平成20年)5月8日

木曜日

享月

三

①武藏野市	75点
②日野市	66点
③三鷹市	64点
④小金井市	62.5点
⑤調布市	62点
⑥八王子市	61点
⑦昭島市	61点
⑧多摩市	56点
⑨福生市	55.5点
⑩府中市	55点

区の30市町村に調査票を配布し、すべての自治体から回答を得た。環境政策一般、森林

項目をもとに点数化。集計の結果、武藏野市が100点中75点で最高点となり、66点の日野市、64点の三鷹市がこれに続いた。下位の市町村名は公表していないが、最低は9・5点だった。

アンケートは2月、多摩地

多摩地区の市議や市民などでつくるグループ「みどり三多摩」が、多摩30市町村の環境対策について尋ねた初のアンケート結果を公表した。多摩産木材の使用促進やごみ収集の分別方法など、独自の調査

アンケートは2月、多摩地区の30市町村に調査票を配布し、すべての自治体から回答を得た。環境政策一般、森林

保全、エネルギー問題、ごみ減量、水環境など7領域、計約50問の質問項目からなる。環境審議会や環境基本条例の有無など自治体の基本姿勢を問う質問のほか、首長や議長公用車の車名や排気量、生ごみや廃油の回収の有無など再利用策、小学校給食への地場産食材利用など具体的な取り組みについても尋ねている。

武藏野市は、環境政策のベイスとなる環境審議会や環境

保全、エネルギー問題、ごみ減量、水環境など7領域、計約50問の質問項目からなる。環境審議会や環境基本条例の有無など自治体の基本姿勢を

問う質問のほか、首長や議長公用車の車名や排気量、生ごみや廃油の回収の有無など再利用策、小学校給食への地場産食材利用など具体的な取り組みについても尋ねている。

2位は日野、3位三鷹

多摩30市町村の環境対策

市民グループがアンケート

基本条例などの整備が進んでおり、ごみ減量と水環境保全を除く5領域で最高点を獲得。日野、三鷹の両市もバランスのとれた取り組みが高評価につながった。市独自の基準を定めて多摩産木材使用的に取り組むあきる野市や、エコ住宅への助成などエネルギー・ビジョン施策を進め福生市のような取り組みもあった。

一方で、企業の環境活動を促進させる取り組みは全体的に遅れしており、何らかの施策がある自治体は8市に過ぎなかった。環境政策を総合的に担当する部署がない市町村もあったといい、調査を担当した運営委員の漢人明子・小金井市議は「各市の状況を把握し、比較することで、多摩地区全体を環境政策のトップランナーに押し上げたい」と話す。

「アンケートを実施した『みどり三多摩』は06年に発足。

多摩地区の市議や市民約40人が環境や社会的公正、平和を

みどり三多摩とは

三多摩に市民が主体の緑の政治を実現し、公正で平和で持続可能な社会をめざす2006年7月発足の新しい政治グループです。

●議員会員

遠藤めい子/多摩市議 大沢ゆたか/立川市議 漢人あきこ/小金井市議
重松朋宏/国立市議 しまざき英治/三鷹市議 白石玲子/東久留米市議
陣内やすこ/八王子市議 長瀬りつ/東大和市議 橋本久雄/小平市議
ひだ紀子/青梅市議 布施哲也/清瀬市議 門間ひで子/羽村市議
森きゆき/国分寺市議 森てるお/西東京市議 他 十市民会員約30人

みどり三多摩
持続可能な社会をつくる
10のキーワード

三多摩 地域 エコロジー
脱経済成長 スローライフ
社会的公正 参加民主主義
多様性 非暴力
フェミニズム 未来志向